

# 第61回研究大会プログラム

会場 福井大学

日時 2014年9月26日(金)～28日(日)

	午前		午後			夕	
9月26日 (金)			受付 (13:30～)	プロジェクト研究 (14:00～16:30)	会場校企画 (16:40～18:10)	全国理事会 (18:30～)	
				特別企画① (14:00～16:30)		若手研究者のつどい (18:30～)	
9月27日 (土)	受付 (9:00～)	自由研究発表 (9:30～12:00)	昼食	自由研究発表 (13:00～15:30)	特別企画② (15:45～17:00)	総会 17:15～18:30	懇親会 18:45～20:45
9月28日 (日)	受付 (9:00～)	プロジェクト研究 (9:30～12:30)	昼食	ラウンドテーブル (13:30～16:00)			

《御案内》

- (1) 受付案内 ①会場案内は表紙裏、教室案内はP1をご参照下さい。 \*敷地内禁煙  
 ②受付設置場所・時間はつぎのとおりです。  
 1日目 13:30～ 教育系1号館 1階ロビー  
 2日目 9:00～ 〃  
 3日目 9:00～ 〃
- (2) 参加費等 ①参加費 2,500円(学部生は1,000円)※非会員の大学院生は2,500円  
 但し会員の大学院生は身分証提示の場合のみ1,500円  
 ②懇親会費 4,000円(学部生・院生2,000円)  
 ③昼食 弁当1食600円(2日目・3日目朝の受付時に食券販売、個数限定)  
 ※周辺の飲食店は土日定休が多いので、お弁当券の購入をお勧めします。  
 ※大学近隣のコンビニ・スーパーもご利用いただけます。(徒歩3～5分)
- (3) 会場案内 ①大会本部 教育系1号館 1階14講  
 ②参加者控室 教育系1号館 1階11講・12講  
 ③理事会 教育系1号館 1階大会議室  
 ④若手研究者のつどい 教育系1号館 6階コラボレーション・ホール  
 ⑤総会 教育系1号館 2階大2講  
 ⑥懇親会 福井大学アカデミー・ホール
- (4) 発表者は、当日配布資料がある場合、十分な枚数(80～100枚)をご用意下さい。  
 会場でのコピーは出来ません。
- (5) 大会についてのお問い合わせやご連絡は下記にお願いします。  
 日本社会教育学会2014年度研究大会福井大学事務局  
 〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学教育地域科学部  
 E-Mail : shakaikyoku2014fukui@gmail.com

## 会場図



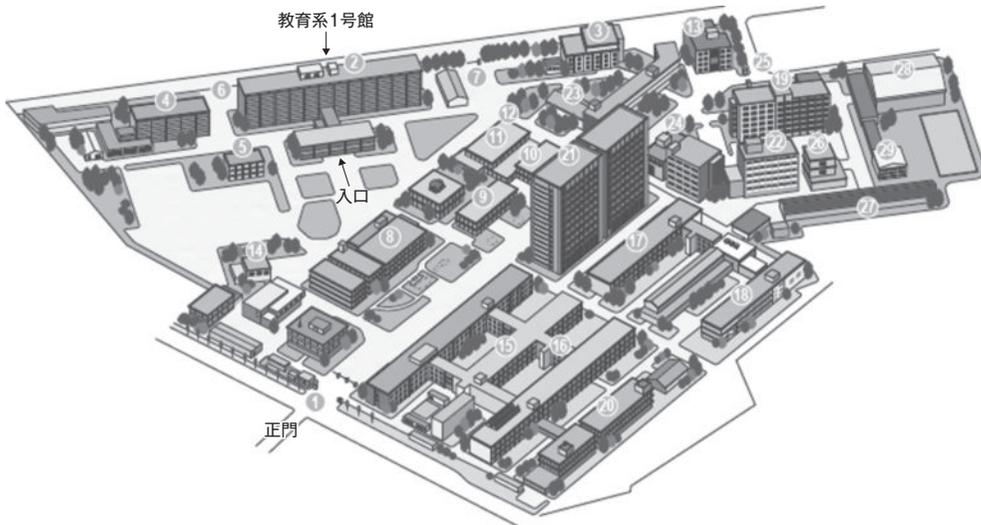
### ★ 福井まで

- ・名古屋／電車で約1時間40分又は、バスで約2時間50分
- ・大阪／電車で約1時間50分又は、バスで約3時間30分
- ・東京／電車で約3時間30分

### ★ 文京キャンパス（教育地域科学部・工学部）

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号 TEL. 0776-23-0500（代表）

- ・鉄道／えちぜん鉄道福井駅—（約10分）—福大前西福井駅 [JR福井駅東口から出て三国芦原線に乗車]  
※西口前の福井鉄道（路面電車）ではありません。
- ・バス／JR福井駅—（約10分）—福井大学前停留所 [JR福井駅西口から出て市内バス乗り場10番より乗車]
- ・タクシー／JR福井駅—（約10分）—福井大学文京キャンパス [必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- ・自家用車／北陸自動車道 福井北I.Cから国道416号線で西へ約7kmまたは福井I.Cから国道158号線で西へ約8km



### 宿泊案内

- ・福井駅周辺の宿泊施設をお勧めします。また、観光シーズンですのでお早目の宿泊先確保を！

→参考URL：福井観光コンベンションビューロー「宿泊施設検索」

[http://www.fukuicity-navy.com/convention/sisetu\\_list.asp?area=1](http://www.fukuicity-navy.com/convention/sisetu_list.asp?area=1)





9月26日（金）

受 付	教育系1号館	1階ロビー
プロジェクト研究	”	6階コラボレーション・ホール
特別企画①	”	大2講
会場校企画	”	6階コラボレーション・ホール

9月27日（土）

受 付	教育系1号館	1階ロビー
自由研究発表 第1室	”	1階101講
自由研究発表 第2室	”	1階102講
自由研究発表 第3室	”	2階203講
自由研究発表 第4室	”	2階204講
自由研究発表 第5室	”	2階205講
自由研究発表 第6室	”	2階206講
自由研究発表 第7室	”	2階207講
自由研究発表 第8室	”	3階301講
自由研究発表 第9室	”	4階401講
自由研究発表 第10室	”	5階501講
特別企画②	”	大1講
総 会	”	大2講
懇親会		福井大学アカデミー・ホール

9月28日（日）

受 付	教育系1号館	1階ロビー
プロジェクト研究〈第1室〉	”	大1講
プロジェクト研究〈第2室〉	”	大2講
ラウンドテーブル①	”	1階101講
ラウンドテーブル②	”	1階102講
ラウンドテーブル③	”	2階203講
ラウンドテーブル④	”	2階204講
ラウンドテーブル⑤	”	2階205講
ラウンドテーブル⑥	”	2階207講

## 第1日目 9月26日 (金)

### プロジェクト研究 「学びあうコミュニティを支えるコーディネーターの 力量形成とその組織」

14:00~16:30 教育系1号館 6階コラボレーション・ホール

※グループ分けのために、参加される方はできるだけ事前申込みをお願いいたします。

【申込先アドレス】projectkenkyu@gmail.com

テーマ 「コーディネーターの力量形成とその組織 (2)

—まちづくり・学校・ボランティアの実践を通して—

司会 梶野光信(東京都教育庁)、中村香(玉川大学)

報告 ① 「地域づくりを担う自治体職員」

遠藤 彰(松本市地域づくり推進本部)

② 「特別支援教育コーディネーターの力量形成とその組織」

笹原 未来(福井大学教職大学院)

③ 「ボランティアコーディネーターの取り組み」

小原 宗一

(日本ボランティアコーディネーター協会)

### 会場校企画

### 「学び合うコミュニティのコーディネーターの力量形成と その組織—福井からの報告—」

16:40~18:10 教育系1号館 6階コラボレーション・ホール

プロジェクト研究の報告を受けて、学び合うコミュニティのコーディネーターの力量形成とその組織について、福井の実践から報告します。

司会 入江直子(神奈川大学)、内田和浩(北海学園大学)

報告 ① 「学び合う地域への長い歩みを支える公民館主事の働き」

田村 栄子(福井市中央公民館主事)

② 「公民館主事の学び合うコミュニティを支える研修」

熊野 直彦

(福井市教育委員会事務局生涯学習室)

## 特別企画 ①

### 「東日本大震災と社会教育」

14：00～16：30 教育系1号館 2階大2講

テーマ 「地域再建とともにあゆむ社会教育の未来への総括」

司会 石井山 竜 平（東北大学）、浅野 かおる（福島大学）

報告 ① 「被災地の現状と課題—阪神・中越の経験を踏まえて—」

室崎 益 輝（関西学院大学）

② 「農の再生に取り組む実践と学び」

ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会

③ 「3.11の経験を社会教育はどう引き受けるか」

鈴木 敏 正（札幌国際大学）

コメンテーター 安藤 聡 彦（埼玉大学）

## 全国理事会

18：30～ 教育系1号館 1階大会議室

## 若手研究者のつどい

18：30～ 教育系1号館 6階コラボレーション・ホール

## 第2日目 9月27日 (土)

### 自由研究発表

9:30~15:30

(共同研究者は○印が登壇者)

#### 第1室 午前 (原理論・歴史)

司会 牧野 篤 (東京大学)

- 9:30~9:55 上原専祿の学習論における地域概念の意味  
阿知良 洋 平 (北海道大学大学院)
- 9:55~10:20 1970年代の教育政策概念についての考察  
—経済界が求めていた能力主義を中心に—  
吉 良 仁 美 (龍谷大学大学院)
- 10:20~10:45 生活記録運動研究の再考  
—書くことの集団的实践と自己形成—  
辻 智 子 (北海道大学)
- 10:45~11:10 上原専祿「主体性形成と学習」論研究 (その9)  
—「地域の教育力」概念の再検討—  
片 岡 弘 勝 (奈良教育大学)
- 11:10~11:35 社会教育・生涯学習におけるレジリエンスの意義  
—ESD・環境教育の視点から—  
降 旗 信 一 (東京農工大学)

(討議 11:35~12:00)

#### 第1室 午後 (原理論・歴史)

司会 鈴木 敏 正 (札幌国際大学)

- 13:00~13:25 変容的学習における実践記述のあり方に関する考察  
正 木 遥 香 (広島大学大学院)
- 13:25~13:50 地域コミュニティの「市民的リテラシー形成過程」に関する一考察  
—ソウル・蘆原区の「マドル住民会」の取り組みから—  
金 宝 藍 (東京大学大学院)
- 13:50~14:15 社会教育における住民参加の概念と課題  
片 岡 了 (明治大学 (非常勤))
- 14:15~14:40 成人の学習理論としてのunlearn概念に関する基礎的考察  
酒 井 佑 輔 (鹿児島大学)
- 14:40~15:05 ソーシャル・キャピタル批判の視座  
—生涯学習論との関連で—  
前 平 泰 志 (京都大学)

(討議 15:05~15:30)

## 第2室 午前（原理論・歴史）

司会 上田 幸夫（日本体育大学）

- 9：30～9：55 平澤計七の労働者像  
小川 史（上田女子短期大学）
- 9：55～10：20 選挙啓発の歴史的展開と社会教育  
上原 直人（名古屋工業大学）
- 10：20～10：45 渡辺治訳『三英双美政海の情波』に見られる「通俗教育」の意味について  
倉知 典弘（吉備国際大学）
- 10：45～11：10 戦前期大都市の児童と映画の問題化をめぐる社会教育の改革  
—東京市の「映画教育」事業を手がかりに—  
関 直規（東洋大学）
- 11：10～11：35 上郷尋常高等小学校における学校・家庭・地域の連絡  
—1930～40年代にかけての学校関係資料及び『上郷時報』を手がかりに—  
山梨 あや（慶應義塾大学）

（討議 11：35～12：00）

## 第2室 午後（原理論・歴史）

司会 渡邊 洋子（京都大学）

- 13：00～13：25 戦後青年の学習論に関する一研究  
—橋本義夫の「ふだん記」を対象として—  
川原 健太郎（早稲田大学）
- 13：25～13：50 戦後復興期における越後妻有郷の青年期教育をめぐって  
佐野 浩（新潟経営大学）
- 13：50～14：15 旧産炭地・筑豊地域における社会教育体制と石炭産業の関係構造に関する歴史的考察  
—社会教育行政・団体の再編過程に着目して—  
農中 至（鹿児島大学）
- 14：15～14：40 戦後移動図書館の成立に関する考察：高知県立図書館を事例として  
石川 敬史（十文字学園女子大学）
- 14：40～15：05 中井正一の「地方文化運動」の実践  
—社会教育史における疎開文化人の活動の位置づけに関する考察  
新藤 浩伸（東京大学）

（討議 15：05～15：30）

## 第3室 午前（学習文化活動）

司会 千葉 悦子（福島大学）

- 9：30～9：55 韓国の平生教育の観点からみた女性結婚移民の現状と課題  
—女性結婚移民者のインタビューより浮かぶ傾向を踏まえて—  
郭 珍榮（東京学芸大学大学院）

- 9：55～10：35 国際結婚移住女性のリテラシーと社会参加  
—生活史と学習環境に着目して—  
○棚田洋平（一般社団法人 部落解放・人権研究所）  
○新矢麻紀子（大阪産業大学）
- 10：35～11：00 結婚移民女性が働くことの意義  
—韓国を事例として—  
朴賢淑（東北大学）
- 11：00～11：25 結婚移住女性の言語習得と社会参加  
—韓国・移住女性人権センターの実践を基にして—  
藤田美佳（奈良教育大学）

（討議 11：25～11：50）

### 第3室 午後（学習文化活動）

司会 添田祥史（福岡大学）

- 13：00～13：25 生の経験を物語ることから見通す地域の再構成  
—障がい者生活支援実践を事例に—  
向井健（北海道大学大学院）
- 13：25～13：50 女性の学習における社会的ネットワークの位置づけに関する検討  
中村由香（東京大学大学院）
- 13：50～14：15 大阪市内における渡日親子のための多文化進路ガイダンス  
平尾亮子（首都大学東京大学院）
- 14：15～14：40 知的障害のある青年の「学びの場」としての自立訓練事業の実態と課題  
—事業所および母親等を対象とする質問紙調査から—  
丸山啓史（京都教育大学）
- 14：40～15：05 旧産炭地筑豊の『子育てネットワーク』活動にみる学習主体の形成  
相戸晴子（宮崎国際大学）

（討議 15：05～15：30）

### 第4室 午前（学習文化活動）

司会 森実（大阪教育大学）

- 9：30～9：55 地域日本語教室における子どもたちの学び  
—千葉市A教室を事例に—  
仲江千鶴（昭和女子大学大学院）
- 9：55～10：20 「地域日本語活動」の課題と可能性  
本間淳子（北海道大学大学院）
- 10：20～10：45 1990年以降の外国人児童生徒教育に関する歴史的考察  
—公立学校、外国人学校、日本語ボランティア教室の位置づけより—  
奴久妻駿介（一橋大学大学院）

- 10：45～11：10 ニューカマー青年の時間的展望についての一考察  
相 良 好 美 (東京大学大学院)  
(討議 11：10～11：35)

#### 第4室 午後 (学習文化活動)

- 司 会 水 野 篤 夫 (公益財団法人 京都市ユースサービス協会)
- 13：00～13：25 美容専修学校における職業を軸とした学びの検討  
—教員へのインタビュー調査を通じて—  
竹 井 沙 織 (名古屋大学大学院)
- 13：25～13：50 社会教育の根源  
—施設等を踏まえた現場からの一考察—  
西 尾 征 樹 (大阪府岸和田市役所)
- 13：50～14：15 大学のグローバル教育と「現場体験」  
—レジリアンス育成の視点から—  
二ノ宮リムさち (東京農工大学)
- 14：15～14：40 「学び」や「育ちあい」を支援する人を育成する博物館実習の可能性  
—世田谷美術館インターンシップ実習を事例に—  
君 塚 仁 彦 (東京学芸大学)
- 14：40～15：05 「生涯教育概論」をいかに教えるか？  
—参加型学習の採用による試行と提言—  
田 中 治 彦 (上智大学)
- (討議 15：05～15：30)

#### 第5室 午前 (学習文化活動)

- 司 会 大 前 哲 彦 (大阪音楽大学)
- 9：30～9：55 被差別部落における識字運動の対抗的主体形成について  
—部落解放文学賞をめぐって—  
菅 原 智 恵 美 (大阪市立大学大学院)
- 9：55～10：20 高齢者の演劇活動の展開  
—高齢者の「身体」に着目して—  
園 部 友 里 恵 (東京大学大学院)
- 10：20～10：45 ドラマワークの教育的意義について  
—実践例より—  
丸 山 里 奈 (東北大学大学院)
- 10：45～11：10 ケベックにおける意識化の取り組み  
—1980年代～2013年の実践分析記録から—  
矢 内 琴 江 (早稲田大学大学院)
- 11：10～11：35 ニート・引きこもり状態にある無業者へのコミュニティ型支援に関する考察  
新 目 真 紀 (青山学院大学 (非常勤))
- (討議 11：35～12：00)

## 第5室 午後（学習文化活動）

司会 手打 明敏（筑波大学）

13：00～13：25 住民主体の学習の変遷についての考察 長野県松川町の健康学習を事例に  
岩松 真紀（東京農工大学大学院）

13：25～13：50 地域におけるインフォーマルな学習についての理論的検討  
荻野 亮吾（東京大学）

13：50～14：15 コミュニティ・エンパワメント論の学習論的意味と課題  
宮崎 隆志（北海道大学）

14：15～15：05 公民館と町会・町内公民館を基盤とした地域づくり  
—松本市の五地区の調査を通して—

○松田 武雄（名古屋大学）

○東内 瑠里子（日本福祉大学）

○後藤 誠一（名古屋大学大学院）

○丹間 康仁（日本学術振興会特別研究員）

○大蔵 真由美（名古屋大学大学院）

竹井 沙織（名古屋大学大学院）

河野 明日香（名古屋大学）

肖 蘭（名古屋大学）

大村 隆史（名古屋大学大学院）

（討議 15：05～15：30）

## 第6室 午前（学習文化活動）

司会 川野 佐一郎（早稲田大学（非常勤））

9：30～9：55 「循環と協働のまちづくり」における住民の担い手意識の形成  
斉藤 雅洋（東北大学大学院）

9：55～10：20 奄美群島・天城町社会教育の25年にみる教育行政の課題  
小栗 有子（鹿児島大学）

10：20～10：45 掛川市生涯学習の展開と地域社会の形成  
志田 倫子（静岡英和学院大学）

10：45～11：10 韓国住民自治センターをめぐる動向と住民の学習（その2）  
○浅野 かおる（福島大学）

長澤 成次（千葉大学）

郭 珍榮（東京学芸大学大学院）

11：10～11：35 コミュニティ政策と社会教育との関係  
—東京都武蔵野市の事例から—

田中 雅文（日本女子大学）

（討議 11：35～12：00）

## 第6室 午後（学習文化活動）

司 会 辻 浩（日本社会事業大学）

13：00～13：25 日常的な記録と自己教育  
—生活の感覚／出来事をふり返って—  
鏝 純 香（京都大学大学院）

13：25～13：50 若者による居場所づくりの意義と課題  
大 山 宏（東京大学大学院）

13：50～14：15 地域子育て支援拠点における「パパひろば」の意義と課題  
—A県B市の実践Dの事例に即して—  
榊 ひとみ（北海道大学大学院）

14：15～14：55 「労働と生活」に関わる問題構成の現在  
—国立市公民館主催「ワーク・ライフ・バランスの生き方デザイン」  
受講者の記述から—  
○富 永 貴 公（東海大学（非常勤））  
○池 谷 美衣子（浜松学院大学）  
井 口 啓太郎（国立市公民館）  
堀 本 麻由子（東海大学）

（討議 14：55～15：20）

## 第7室 午前（職員）

司 会 細 山 俊 男（社会教育・生涯学習研究所）

9：30～9：55 非正規専門職の「専門性」と「労働者性」  
—図書館司書を事例に—  
廣 森 直 子（青森県立保健大学）

9：55～10：20 社会教育職員のライフコースと力量形成  
松 本 大（弘前大学）

10：20～10：45 リーダーの質問力育成方法に関する実践研究（その3）  
—国立女性教育会館主催講座「ダイバーシティ推進リーダー会議」の  
検討から—  
堀 本 麻由子（東海大学）

10：45～11：25 社会教育と学校の連携に関する調査研究  
—社会教育関係職員の役割と養成の課題—  
○倉 持 伸 江（東京学芸大学）  
○山 口 源治郎（東京学芸大学）  
君 塚 仁 彦（東京学芸大学）  
高 田 滋（東京学芸大学）

（討議 11：25～11：50）

## 第7室 午後（学習機会）

司会 浅野 秀重（金沢大学）

13：00～13：25 「性差保健」をテーマとする実践コミュニティの展開（3）

—大学の地域貢献事業に関する省察的实践研究—

西原 亜矢子（新潟大学）

13：25～13：50 地域住民の参加・参画型学習活動と大学開放事業プログラムの可能性

藤田 昇治（弘前大学）

○藤田 公仁子（富山大学）

13：50～14：15 生涯学習機関としての大学の地域連携

村田 和子（和歌山大学）

14：15～14：40 研究者の科学コミュニケーション活動と生涯学習

—現代的大学拡張の可能性—

佐藤 祐介（北海道大学）

（討議 14：40～15：00）

## 第8室 午前（学習機会）

司会 生島 美和（弘前学院大学）

9：30～9：55 美術館教育実践にみる地域性と諸課題

—東北地区の美術館の事例から

渡邊 祐子（東北大学大学院）

9：55～10：20 住民を主人公に据えた東京における博物館実践の展開の考察

栗山 究（早稲田大学（非常勤））

10：20～10：45 数値化し難い青少年育成事業に対する評価手法の考察

—（公財）京都市ユースサービス協会の演劇ビギナーズユニットの事業から—

岩本 陽子

（公益財団法人 京都市ユースサービス協会）

10：45～11：10 四国四県に見る人口・財政上の課題と博物館存続への展望

瀧 端 真理子（追手門学院大学）

（討議 11：15～11：35）

## 第8室 午後（学習機会）

司会 岩本 陽見（和光大学）

13：00～13：25 青少年センターづくりに社会教育会館で取り組む

吉野 友二（板橋区立大原社会教育会館）

13：25～13：50 大学における体験学習の評価

—社会教育の評価研究からの考察—

中村 みどり（立教女学院短期大学）

- 13：50～14：15 英国における寄宿制成人教育施設をめぐる動向と今日的役割  
—フィルクロフト・カレッジを事例として—  
鈴木 尚子（徳島大学）
- 14：15～14：40 ニューヨーク市の文化施設における移民への英語教育プログラムに関する考察  
永田 祥子（広島大学大学院）
- （討議 14：40～15：00）

## 第9室 午前（地域・地域問題）

司会 新妻 次男（岩手大学）

- 9：30～9：55 教師が復興の当事者性を獲得していく過程とその意義  
—石巻市雄勝地区のある教師を事例として—  
石山 雄貴（東京農工大学大学院）
- 9：55～10：20 「記憶」や「記録」に着目した方法論の試み  
—商店街を中心とした2つの地域活動における「記憶」や「記録」に着目して—  
伊藤 雅一（千葉大学大学院）
- 10：20～10：45 社会教育における防災教育  
—岩手県大船渡市赤崎地区公民館の事例研究を中心に—  
野元 弘幸（首都大学東京）
- 10：45～11：10 中山間地域コミュニティにおける社会関係資本形成と住民の学習の関係性  
—山形県金山町を事例として—  
蜂屋 大八（宇都宮大学）
- 11：10～11：35 地域おこしと学校教育  
—都城笛水地区の実践を事例に—  
神田 嘉延（鹿児島大学）
- （討議 11：35～12：00）

## 第9室 午後（地域・地域問題）

司会 末本 誠（神戸大学）

- 13：00～13：25 持続可能な地域づくりにおける「参加型学習」の成果と課題  
—東日本大震災の被災地域の子どもを対象としたESDプログラムの実践を事例に—  
秦 範子（東京農工大学大学院）
- 13：25～13：50 奄美大島の集落行事としての八月踊りに見る表現・文化活動の意味  
杉浦 ちなみ（東京大学大学院）
- 13：50～14：15 ブラジル連邦区の事例にみるブラジル民衆教育の新たな傾向  
—学校教育への接続強化と官民協働—  
二井 紀美子（愛知教育大学）

14：15～14：40 魚食文化の継承と地域学習ネットワークの構築  
—山形県庄内「浜文化伝道師」の養成と活動を中心に—  
佐藤 一子 (法政大学)

(討議 14：40～15：00)

## 第10室 午前 (地域・地域問題)

司会 新保 敦子 (早稲田大学)

9：30～9：55 中国における少数民族文化政策に関する考察  
紅 桂 蘭 (筑波大学大学院)

9：55～10：20 韓国の貧困地域における、主体性を育む住民教育と国際ネットワーク  
—チェゴンマウルを事例として—  
桔 川 純 子 (東北大学大学院)

10：20～10：45 香港におけるNGOによる社会的弱者の支援に関する研究  
肖 蘭 (名古屋大学)

10：45～11：10 大学生の多文化共生志向に関する一考察  
杉 原 亨 (鈴鹿国際大学・非常勤)

11：10～11：35 アメリカにおける失業者支援とソーシャル・サービス  
藤 村 好 美 (群馬県立女子大学)

(討議 11：35～12：00)

## 特別企画 ②

### 「社会教育行政及び資格をめぐる動向」

15：45～17：00 教育系1号館 大1講

司会 田中 雅文 (日本女子大学)

基調報告者 高橋 満 (東北大学)

コメンテーター 中山 弘之 (愛知教育大学)、山本 健慈 (和歌山大学)

## 総 会

17：15～18：30 教育系1号館 大1講

## 懇 親 会

18：45～20：45 福井大学アカデミー・ホール

## 第3日目 9月28日（日）

### プロジェクト研究 〈第1室〉 「社会教育研究における方法論の検討」

9：30～12：30 教育系1号館 大1講

テーマ 「社会教育実践における〈ことば〉とその力動性」

司会 安藤耕己（山形大学）

報告 ①「居場所づくりの実践／研究をする〈わたし〉たちがつむぐ〈ことば〉」

滝口克典

（ぶらっとほーむ共同代表／東北芸術工科大学・非常勤）

②「識字教育実践がつくる／をつくる〈ことば〉」

添田祥史（福岡大学）

③「多文化環境を意識した実践における〈ことば〉の諸相」

渡辺幸倫（相模女子大学）

コメンテーター 津田英二（神戸大学）、辻智子（北海道大学）

### プロジェクト研究 〈第2室〉 「子ども・若者支援専門職の必要性と資質に関する研究」

9：30～12：30 教育系1号館 大2講

テーマ 「子ども・若者支援に関する専門職をめぐる問題状況と課題（2）  
—実態・事例調査を踏まえて—」

司会 宮崎隆志（北海道大学）、大山宏（東京大学大学院）

報告 ①「子ども・若者支援専門職の実践分析・業務評価共通フォーマット試論」

生田周二（奈良教育大学）

②「子ども・若者支援関係施設・職員へのヒアリング調査の概要」

七澤淳子（公益財団法人よこはまユース）

③「子ども・若者支援の動向—英独の事例調査」

大串隆吉（社会教育研究所東京23）、

立石麻衣子（奈良教育大学）

## ラウンドテーブル

13：30～16：00

### ラウンドテーブル①

テーマ	「社会教育研究における方法論の課題および今後の展望を語る（その2）」
コーディネーター	松本大（弘前大学） 藤田美佳（奈良教育大学） 吉田正純（京都聖母学院短期大学） 安藤耕己（山形大学）
報告	滝口克典（ぶらっとほーむ共同代表／東北芸術工科大学（非）） 添田祥史（福岡大学） 渡辺幸倫（相模女子大学）

### ラウンドテーブル②

テーマ	「労働の主体性を考える その2」
コーディネーター	平川景子（明治大学）
報告	道脇福夫（福井市労働局職業安定部職業対策課 事業主支援アドバイザー） 他

### ラウンドテーブル③

テーマ	「子どもに関わるおとなの学び —『子ども・子育て新システム』の具体化と地域子育て支援」
コーディネーター	河野和枝（北星学園大学） 井上大樹（北海道文教大学）
報告	河野和枝（北星学園大学） 井上大樹（北海道文教大学） 大坂祐二（名寄市立大学） 榎ひとみ（北海道大学大学院） 他 参加者からの持ち込み

### ラウンドテーブル④

テーマ	「社会教育におけるESD研究の可能性」
コーディネーター	高雄綾子（フェリス学院大学） 二ノ宮リムさち（東京農工大学） 荻野亮吾（東京大学）
報告	石山雄貴（東京農工大学大学院） 秦範子（東京農工大学大学院） 中川友理絵（東京大学大学院） 金宝藍（東京大学大学院）

### ラウンドテーブル⑤

テーマ 「地域づくりと社会教育（その2）」

コーディネーター 上 田 幸 夫（日本体育大学）  
岡 幸 江（九州大学）  
高 橋 満（東北大学）  
手 打 明 敏（筑波大学）  
宮 崎 隆 志（北海道大学）  
村 田 和 子（和歌山大学）  
報告 宮 崎 隆 志（北海道大学）  
他

### ラウンドテーブル⑥

テーマ 「震災と社会教育」

コーディネーター 千 葉 悦 子（福島大学）  
話題提供 上 田 幸 夫（日本体育大学）

## 氷川下セツルメント史

半世紀にわたる活動の記録

氷川下セツルメント史編集委員会 編著

1953年にその歩みを開始した氷川下セツルメント。以後、常時100名を超える学生たちが、東京都文京区の一 corner で、料理講習会・子ども会・勉強会・わかもの会、あるいは、法律相談・医療保健検診などのボランティア活動に取り組んだ。

「同じ喜びと悲しみ」を胸に刻んだ、半世紀にわたる活動の記録。

A5判/500頁・口絵12頁/定価(本体3500円+税)



## つながる

杉並の社会教育・市民活動

すぎなみ社会教育の会 編

原水爆禁止運動、環境問題への取り組み、文庫活動、PTA活動等で知られる杉並において、公民館を通じて学び、生活課題解決や地域づくりに関わってきた人々による活動記録をまとめたもの。学生等の若い方にも気軽に手にとって杉並の歴史を紐解いていただけるような一冊となっている。

A5判/252頁/定価(本体2500円+税)



エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9 TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

小林 繁・平川景子・片岡 了 著

## 生涯学習概論

学びあうコミュニティをつくる

生涯学習について学ぶ学生、生涯学習に関心を寄せる市民のための初學者向けテキスト。

「生涯学習とは何か」を理解してもらうことに重点を置き、さらに“学びあうコミュニティ”の理解と実践に役立つことを願って、生涯学習に関する基礎的な領域・事項を中心にまとめている。

社会教育の歴史や戦後の社会教育の特徴を記述することにより、生涯学習と社会教育の関係をわかりやすく描き出している。



A5判・並製/173ページ

定価(本体2,000円+税)

2014年5月刊行

## 第3版 学校教育辞典

今野喜清 新井郁男 児島邦宏 編

A5判/872頁/上製/ビニル装/ケース入 定価: 本体 8,000円+税

好評の『新版 学校教育辞典』を11年ぶりに大改訂!

学校教育全般(関連諸学問、教育内容・方法、制度、歴史等)に関する重要語句 2,214 項目を1冊に収載した、すべての教育関係者必携辞典。



## 環境教育辞典

日本環境教育学会 編 A5判/352頁/上製/ビニル装/ケース入

定価: 本体 4,000円+税

- ・日本環境教育学会編集による、環境教育の用語辞典。
- ・環境問題と環境教育に関する用語 830 語を収載。
- ・「持続可能性」に関連する用語や国際的な動向など、新たなキーワードも多数収載。



教育出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10

TEL 03-3238-6908 FAX 03-3238-6999

ホームページ <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>



## 男女共同参画のための専門情報誌

# 月刊「We learn」



毎月1日発行 (11・12月合併号は11月20日発行)  
B5判/年間購読料4,000円(税・送料込)

◇生涯学習、キャリア支援、子育て支援、まちづくり、スポーツなどさまざまな分野に光を当て、男女共同参画の切口から、読みやすい誌面でお届けします。

◇「学びのスイッチー男女共同参画A to Z」では、「学習方法を考える」「ジェンダー統計」など、男女共同参画の事業の企画に役立つテーマを取り上げます。

◇「シネマ女性学」「Women's Art」など連載も好評です。是非ご活用ください。

## 学習・研究のためのスペース

# スペース We learn



◇男女共同参画社会をめざす学習・研究を行う方なら、どなたでもご利用いただけます。

\*女性の教育・学習、次世代育成に関する図書・資料を約1,500冊所蔵し、閲覧が可能です。

\*可動式の机と椅子(22台)があります。小規模の学習会、ミーティングにもご利用いただけます。

◇開 室：平日10:00~16:00 水曜日は20:00まで  
利用料：個人300円/1回、団体2,160円/1時間  
最寄駅：JR浜松町駅、都営地下鉄芝公園駅、大門駅

### ◆お問合せ先 公益財団法人 日本女性学習財団 学習事業課

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 TEL 03-3434-7575 FAX 03-3434-8082

<http://www.jawe2011.jp>

E-mail [jawe@nifty.com](mailto:jawe@nifty.com)

## 未来を拓く子どもの社会教育

●上杉孝賢・小木美代子監修/立柳聡・姥貝荘一編著 定価3240円

## 教育老年学と高齢者学習

●堀薫夫編著 定価3024円

## 社会教育〈教師教育テキストシリーズ 6〉

●長澤次編 定価1944円

## 社会教育計画の基礎【新版】

●鈴木真理・山本珠美・熊谷慎之輔編著 定価2484円

## 学校学力から生涯学力へ—変化の時代を生きる

●前田耕司・佐藤千津編著 定価1836円

## 生涯学習と多文化・多民族教育の研究

●岩崎正吾編著 定価2052円

## 生涯学習の基礎【新版】

●鈴木真理・永井健夫・梨本雄太郎編著 定価2484円

## 少子社会の子育て力

—豊かな子育てネットワーク社会をめざして

●高野良子編著 定価2376円

## 〈講座 現代学校教育の高度化 6〉 生涯学習と学習社会の創造

●佐藤晴雄・望月厚志・柴田彩千子著 定価2268円



### ●新刊●既刊 案内

## いじめによる子どもの自死をなくしたい

●早稲田大学教師教育研究所 監修 定価1944円  
近藤庄一・安達昇 編著

記者、教育学者、弁護士、教師それぞれの立場で実践するいじめへの取り組み、思考の道筋を明かし、多面的な視点からの問題提起を試みる。

## 博物館教育の原理と活動

—すべての人の学びのために 定価3888円  
●駒見和夫著

今日の生涯学習社会において博物館が果たすべき機能とのかかわりを検討し公教育機関である博物館の方向性を見出す。

## <多文化共生>8つの質問

—子どもたちが豊かに生きる2030年の日本 定価2160円  
●佐藤友則著

日本における多文化共生社会の現状及び官民の協働などを紹介、グローバル人材の育成と活用、外国人の受入政策、基本法の制定にも言及。

## ボランティア活動をデザインする

●田中雅文・廣瀬隆人編著 定価2160円

## ボランティア活動とおとなの学び

—自己と社会の循環的発展 定価3240円  
●田中雅文著

## テキスト生涯学習【第3版】

—学びがつむぐ新しい社会 定価1728円  
●田中雅文・坂口緑・柴田彩千子・宮地孝宜 著

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1  
<http://www.gakubunsha.com>

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012  
E-mail: [eigyog@gakubunsha.com](mailto:eigyog@gakubunsha.com)

# 希望への社会教育

3・11後社会のために

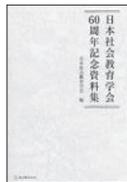
日本社会教育学会60周年記念出版部会 編  
本体2,900円+税



希望を語ろうとする本書は、人びとの「学び」が個人としても社会としても希望を引き寄せる要であるという立場に立つ。そして本書で議論される「いのち」「紐帯」「持続可能性」などは、3.11後の社会に向き合うこれからの社会教育に求められる基本的な観点である。これからの社会教育研究に不可欠な視点と方向を示す、関係者必読の書。

# 日本社会教育学会 60周年記念資料集

日本社会教育学会 編 本体2,000+税



歴史的な写真、創刊号からの学会通信復刻版(抜粋)、学会の成立や社会教育職員育成の歴史を辿る論考、第1号からの紀要掲載論文全タイトル等を収録し、日本社会教育学会60年の軌跡を追う。日本社会教育学会そのものにとどまらず、日本における社会教育の歴史的推移を把握するのに欠かせない内容。

# 学びあう コミュニティを培う

社会教育が提案する新しい専門職像

日本社会教育学会 編 本体2,900円+税



# 希望の教育

持続可能な地域を実現する創造的復興教育

文部科学省創造的復興教育研究会 編  
本体1,900+税



東洋館出版社

がんばる先生を  
応援します!

〒113-0021 東京都文京区本駒込5丁目16番7号  
TEL: 03-3823-9206 FAX: 03-3823-9208

## 東日本大震災と地域青年の記録

# 生きる

第3号



1冊1,000円(税抜)

編集・発行:「生きる～東日本大震災と地域青年の記録～」第3号編集委員会(代表:辻智子)

問合せ・申込は

日本青年団協議会

<http://www.dan.or.jp>

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町7-1  
電話 03-3475-2490 FAX 03-3475-0668  
Email shakai\_josei@dan.or.jp

社会教育の実践的展開へ向けて

## コミュニティワークの教育的実践

―教育と福祉とを結ぶ  
高橋満著  
A5・並製・二二六頁・二〇〇〇円

## NPOの公共性と生涯学習のガバナンス

―貧困化する日本と政策課題  
高橋満著  
A5・上製・二〇八頁・二八〇〇円

## (第2版)NPO実践マネジメント入門

パブリックリソースセンター編  
A5・並製・二七二頁・三三八一円

## 自然再生と社会的合意形成

高田知紀著  
A5・上製・二六四頁・三二〇〇円

## 市民力による知の創造と発展

―身近な自然に対する市民研究の持続的展開  
萩原なつ子著  
A5・上製・二九六頁・三二〇〇円

社会教育と学校・大学を結ぶ新たな学習ブリッジング

## 社会形成力育成カリキュラムの研究

―社会科・公民科における小中高一貫の政治学習  
西村公孝著  
A5・上製・五二〇頁・六五〇〇円

## アメリカ公民教育におけるサービスマーケティング

唐木清志著  
A5・上製・三八四頁・四六〇〇円

## 大学生の学習ダイナミクス

―授業内外のラーニング・ブリッジング  
河井亨著  
A5・上製・三二二頁・四五〇〇円

生涯学習における社会変革のダイナミクス

〔大転換期と教育社会構造・地域社会変革の学習社会論的考察〕  
小林甫著 全4巻・既刊1巻・続刊3・4巻・各A5・上製

第2巻

現代的教養 I  
生活者生涯学習 四六四頁・  
の地域的展開 六八〇〇円  
現代的教養 II  
技術者生涯学習 四八〇頁・  
の生成と展望 六八〇〇円

## ソーシャルキャピタルと生涯学習

J・フイールド著 矢野裕俊監訳  
A5・並製・二四〇頁・二五〇〇円

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-20-6  
http://www.toshindo-pub.com

東信堂

TEL 03-3818-5521 FAX 03-3818-5514  
Email tk203444@fsinet.or.jp [価格税別]

## 現代の社会教育と生涯学習

松田武雄 編著  
A5判 248頁 定価2,800円

## アジアの子どもと教育文化

人類学的視角と方法  
坂元一光  
A5判 286頁 定価3,200円

## 子ども社会の現在

居場所・問題行動・育児 (仮題)  
住田正樹  
2014年8月刊行予定・予約受付中 予価3,800円

## 「教育」する共同体

ウズベキスタンにおける国民形成と地域社会教育  
河野明日香  
A5判 252頁 定価4,200円

## 海洋少年団の組織と活動

戦前の社会教育実践史  
圓入智仁  
A5判 346頁 定価4,600円

## 地域社会と教育

子どもの発達と地域社会  
住田正樹  
A5判 398頁 定価5,700円

〒812-0053 福岡市東区箱崎7-1-146 E-mail : sales@kup.or.jp  
Tel : 092-641-0515 Fax : 092-641-0172 〔価格税別〕

九州大学出版会

